

神出鬼没の異常な添乗！ これってあり??

昨年の 9 月から営業科長、営業助役の添乗が頻繁に行われています。特に私たちの組合員がターゲットにされているのは何故でしょう？昨年の 9 月から今年の 2 月まで 12 回も添乗された組合員がいます。また、早朝の 7 時 10 分発 9 A、夜遅くの 20 時発 261 A に添乗するなど異常としか言いようがありません。また、他の列車の添乗時の指摘では、例えば SMT 社員が車内清掃をしているときに時に私たちは、座席の汚損、折損などの点検のために巡回をします。その時に「洗面所の出水を確認していない」「トイレ内の点検をしていない」また、発車後の車内巡回時に「網棚から荷物の紐が 10 cm 垂れ下がっている事を見逃した」「傘が通路に出ているのを見逃した」など、これが果たして実情に合った指摘なののでしょうか？

また、その事を「乗務報告書に記入しなさい!」と業務指示されます。私たちは、当然のこととして乗務報告書には記入しません。しかし後日、佐藤運転科長は、書かない事をもって指導と称し面談を強要します。

かつて私たちは、些細な指摘により不当なボーナスカットがなされ裁判で闘ってきました。

裁判の中で会社側弁護士いわく「自分に不利になるような事を何故書いたのですか？会社は強要は一切していません」と言い放っていました。

佐藤運転科長は、「所の指導だから書きなさい」「貴方の勝手な判断で書かない事は認めません」「助役の指示した事は何でも書きなさい」と面談の中で言っています。矛盾しませんか？

私たちは、管理者の点数稼ぎでない事を信じたいものです。会社は他に何か目的があるのでしょうか？

皆さんはどのように思いますか？